

令和7年教育委員会第5回定例会会議録

開会日時 令和7年5月13日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時19分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花高子
同職務代理者 井口信二
委 員 久保洋子
委 員 壺内 明
委 員 谷部 憲子
委 員 田中 健

議場出席委員

・学校教育担当部長	山梨 智弘	・教育総務課長	羽田 顕
・学校施設課長	川端 嘉彦	・学校施設整備担当課長	加藤 義人
・学務課長	大倉 義雄	・教育指導課長	杉山 茂
・学校教育推進担当課長	江川 泰輔	・総合教育センター教育支援課長	二ノ宮 正信
・総合教育センター管理担当課長	松井 美貴子	・統括指導主事	青木 大輔
・統括指導主事	田辺 留美子	・地域教育課長	高橋 裕之
・放課後支援課長	宮木 亮	・生涯学習課長	土居 真喜
・生涯スポーツ課長	張替 武雄	・中央図書館長	香川 幸博

書 記 ・教育企画係長 木村 圭佑

開会宣言 教育長 小花高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花高子 委員 井口信二 委員 久保洋子
以上の委員3名を指定する。

開会時刻 10時00分

○教育長 おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和7年教育委員会第5回定例会を開会いたします。

本日の会議録の署名は、私に加え、井口委員と久保委員をお願いいたします。

本日、傍聴の申出はございませんけれども、本日の議案第40号につきましては、特定の個人を識別されうる情報が含まれており、公開することにより個人の権利・利益を害する恐れや、公正かつ円滑な議事運営が損なわれる恐れがあるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により非公開としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

○教育長 それでは、議案第40号につきましては、非公開といたします。

それでは、議案第40号「いじめ防止対策推進法第28条第1項の調査について」を上程いたします。

議案第40号「いじめ防止対策推進法第28条第1項の調査について」

— 非公開 —

○教育長 以上で、非公開事案は終了でございます。

続いて、報告事項等にまいります。報告事項等は2件でございます。

報告事項等の1「令和7年度教育研究指定校等の決定について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

○教育指導課長 「令和7年度教育研究指定校等の決定について」のご説明をさせていただきます。

まず項番1「教育研究指定校」でございます。今日的な教育課題や葛飾区の教育施策、各学校・園が直面する課題について、原則として2年間の研究を行い、その研究成果を学校・園及び地域社会に還元するものでございます。

研究指定2年目の学校・園につきましては、教育指導課が定める日時に、授業の公開及び研究発表を各学校・園を会場として開催いたします。

まず、継続として2年目は10校で、今年度研究発表をする予定でございます。2ページをご覧ください。今年度1年目となる新規の学校は11校ございます。

そして、3ページをご覧ください。教育モデル校等についてですが、3種類ございます。1点目が、授業充実モデル校ということで、各学校の教育的な課題について解決を図るため、地域人材や外部講師を活用した教育活動を実施し、授業の充実を図ります。こちらが、小学校5校、中学校1校、幼稚園1園となっております。

2点目は、体力向上推進校ということで、今日的な子どもたちの体力の低下及び運動時間の減少、運動意欲の低下等、各学校が直面する課題について授業力の向上と課題解決のための実践的な研究を行い、その研究成果を区立学校に還元するというので、小学校5校でございます。

3点目は、生命尊重教育推進校でございます。かけがえのない生命を尊重することについて深く考え、理解する学習活動を実施するために、東京かつしか赤十字母子医療センターと連携した授業を実施し、生命尊重教育を推進いたします。小学校が2校、中学校が3校ございます。

項番3「グループ研究」でございます。小松中学校と新小岩中学校が数学科においてグループ研究を行ってございます。

項番4「東京都教育推進校」といたしまして、人権尊重教育推進校ということで前年度より引き続き本田中学校、そして小学校教科担任制等推進校ということで、小学校が2校となっております。

教育指導課としてしっかり支援をまいります。

以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いしたいと存じます。

壺内委員。

○壺内委員 都内の中でも、本区は若い先生がとて多いということで、研究及び研修については将来、自分が教員として続けていくための生命線であり、若いうちから磨いていかないと力が発揮できなくなって、教員生活も台なしになってしまうと思っています。

そういう面では、大変な貢献をしているのかなということで、こういう研究を率先して引き受けてくれている校長先生とか園長先生に対しては、とても感謝して頭が下がる思いがいたします。

教育委員会としましては、いろいろな困り事があると思いますので、ぜひ物心両面からの支援を継続していただき、研究や研修がスムーズにできるように応援していただきたいと、希望でございます。

よろしくをお願いします。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 ありがとうございます。学校といたしましても、教員の専門性を磨いていながら、授業力向上を目指して頑張っていくというところで、率先して受けていただいております。学校・園に今のお話をしっかり伝えていきたいと思っております。

また、物心両面でしっかり支援をまいりたいと思っております。

以上でございます。

○教育長 よろしいでしょうか。

井口委員。

○井口委員 私も秋から冬にかけて、2年目の学校の研究発表が行われるのが非常に楽しみにしているのですけれども、例年、素晴らしい実践をして、発表がされていると思います。

個々の先生方の指導力が高まるということと同時に、学校としての組織としての力を高めるためにも、このような研究はかなり意義があると思います。

例年、中学校の参加者が少ないかなというのを全体会の会場で感じています。せっかくいい実践発表をしているので、ぜひ中学校の校長先生方にも頑張ってください、参加者を増やしていただきたいなと思います。

よろしくお願いします。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 中学校の研究発表の参加者が少ないということですが、研究発表というのは、各学校にしっかり還元していくというところに意義がございますので、校長会と連携を図りながら参加が増えるよう依頼をしていきたいと思っております。

以上でございます。

○教育長 よろしいですか。ほかにはいかがでしょうか。

久保委員。

○久保委員 質問と言うよりは感想なのですが、今回、教育委員になってこのようなご報告を頂いて、教育モデルの学校で三つのテーマで推進をさせていただいているということで、改めて勉強というよりは、様々な子どもたちの啓発が行われていることに大変感銘を受けました。

その中で、特に3番目の生命尊重教育推進校というところで、日赤と連携している授業をやっていただいているということで、地域と連携しているということも大変心強いなと思っております。

最近では、兄弟の数も少なく、また親戚との交流も昔に比べると減っているという現状があります。非常に自然との共生も少ない環境になりましたので、命を大事にするということを学ぶということが改めて大事ななと思っております。

これから地域も多様性の社会になり、どう子どもたちが共生社会や国際化に向けて打って出るかという部分において、最初に命の大切さを学ぶ大事なテーマのモデルの事業になると期待しております。地方では赤ちゃん力という授業も行われている地域もあると聞いており、そうした意味では、この日赤の力やまたいろいろなお仕事の体験を勧めて、自分の直接の血のつながっている兄弟ではなく、ほかの小さな命と関わるということにとっても意義があると感じておりますので、これからも生命尊重教育という部分では、ぜひ地域の力も巻き込んで、教育委員

会がこの教育モデルの学校の中で、成果が出るということを期待しておりますので、よろしく
お願いいたします。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 大変にありがとうございます。東京かつしか赤十字母子医療センターから赤
ちゃん人形や妊婦体験セットを提供いただき、助産師の仕事の紹介をしていただきながら、自
分や他人の命を大切にすることを学んでおります。継続して取り組んでまいりたいと思ってお
ります。

ありがとうございます。

○教育長 ほかにはいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上で報告事項等の1を終わります。

次に、報告事項等の2「令和7年度葛飾区子どもまつりの実施結果について」の報告をお願
いします。

地域教育課長。

○地域教育課長 それでは、私から「令和7年度葛飾区子どもまつりの実施結果について」の
ご報告をいたします。

お手元の資料をご覧ください。目的は、1に記載のとおりで、先月の4月27日に開催をいた
しました。令和5年度は雨天中止となりましたが、昨年度、今年度は天気恵まれ2年連続の
開催となったところでございます。会場及び主催につきましては、資料3、4に記載のとおり
でございます。

5のコーナー数ですが、これは昨年度と同等の数字となっております、7に記載の参加団
体が子どもたちのために様々な体験やものづくりを実施したほか、中央ステージでは手品や吹
奏楽、踊りなどのイベントを実施し、大いに盛り上がったところでございます。

参加者は約3万人で、昨年度より多くの参加者にご来場いただきました。

最後の救護及び迷子等でございますが、救護については立ちくらみが1件となっております。
迷子につきましては、全員無事に保護者に引き渡してございます。通報につきましては、不審
者が会場内にいるとの情報を受けまして、警察に通報し対応したところでございます。

今年度も大きな事故もなく、無事終了することができたのは、子ども会育成会連合会あるい
は各団体のご協力のおかげだと感謝してございます。

なお、課題につきましては、今年度、かなり多くの外国籍の方が参加されている印象を強く
受けまして、実際に迷子の3件のうち1件は中国籍の方ということでございました。このよう
な状況から、次年度に向けては、子ども会育成会連合会と併せて、外国語対応についても検討
してまいりたいと考えてございます。

また、各団体へのアンケートを実施し、さらなる改善点なども確認してまいりたいと考えて

おります。

ご報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見ございましたらお願いしたいと存じます。

谷部委員。

○谷部委員 私も当日、家族と共に参加をさせていただいたのですが、お天気もよかったですし、参加協力団体の方々に本当に親切にいただいたので、毎年、敬意を表したいと思います。

今、課長からもお話がありましたように、外国籍の方がすごく多いなと私も感じました。その中で、迷子だけではなく、例えばお子さんだけができる工作であるということが伝わりにくいか、常識的にこういうことしたら危ないよねということがちょっと違っているなと感じました。例えば、大きい鯉のぼりのポールに上り始めてしまう子がいて、注意をすると周りの国籍の違う方も分かってくださってということがありました。

来年は外国語での表記などを検討してくださるということですが、そういったことは本当に必要だなと、今年は強く感じましたのでよろしくお願いいたします。

○教育長 地域教育課長。

○地域教育課長 実際に、私も現場にいましたけれども、会話を聞いたときに中国籍の方や韓国籍の方というのが多い印象を受けました。注意書きやチラシ等も日本語のものしかないので、多言語のご案内ができるように何か工夫ができないかというのは、子ども会育成会と実行委員会形式で実施しておりますので、その中で議論を深めていきたいと考えております。

以上です。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項等の2を終わります。

以上で、本日の議事は全て終了となりますけれども。その他何か、ご意見、ご質問等がございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で令和7年教育委員会第5回定例会を閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時19分